

# とうきょう すくわくプログラム



つぼみ組（2歳児）（第3回目）6月19日

【活動内容】『水の量、重さ、温度の違いは感じるかな？』

水の流れや温度が感じられるようにしました。水を入れたペットボトルを日向に置いて触ってタンクの水やタイヤの水との違いを感じてみたり、雨どいから流れる水を汲んで重さを感じました。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

- ・水遊び用バケツ・ジョーロ・水車・雨どい・ペットボトル

【子ども達の姿と発見】

- ・雨どいから勢いよく流れる水をバケツにいれて「重いー！」「いっぱいになった」と伝え合う。タイヤから汲んだ水を雨どいに流すことを繰り返すお友だちを見て何人も真似してんでいた。
- ・ペットボトルに水を入れて日向に置いておく。「こっちに置いていた水はどうなったかな？」と温かくなったら、タイヤやタンクの水と触って比べてみる。「あったかい！」「あついね」「こっちは冷たい」と温度を感じていた。
- ・ペットボトルの水を持ち「重いよー」「よいしょよいしょ」と運んでいた。

※今回は、水の重さに気づき興味を持った子が多かったので次回は、物質の量や重さなどが感じられるような活動をしていきたいです。

（第4回目）7月1日

【活動内容】『重さの違いはあるのかな？』

はかりを使って室内にある色々な玩具の重さを比べてみました。はかりの性質である重い方が下がるということが新鮮なようで色々な物の重さを比べていました。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

- ・はかり・室内用の玩具

【子ども達の姿と発見】

- ・保育士が始めに重さの違う玩具をはかりにのせて、はかりが傾くことを見せると、色々な玩具を持ってきてはかりに乗せて、傾きを感じていた。
- ・ブリオが重いことに気付いた子ども達はより重い物を探して、ままごとの野菜をはかりにのせてみた。それでも敵わなかったので「もっとのせてみよう」と言い、1つのせてみたら釣り合った。重さを足すことに気付いた瞬間だった。
- ・保育士が水を入れてみると、食いつくように見えていた。

※今回ははかりの性質を知ることが出来たので、次回は水や砂、石等の量や重さなどが感じられるような活動をしていきたいです。

